

2026.2.1

東京競馬場・京都競馬場・小倉競馬場

東京
11R

フォーエバーヤング ブリーダーズカップクラシック優勝記念 根岸ステークス (GⅢ)

京都
11R

シルクロードステークス (GⅢ)

Forever Young

Forever Young

2025年11月1日、アメリカ・デルマー競馬場で行われたブリーダーズカップクラシックにおいて、フォーエバーヤング号が優勝しました。

史上初となる日本調教馬による同競走制覇を記念し、本日の東京11レース 根岸ステークスは、「フォーエバーヤング ブリーダーズカップクラシック優勝記念 根岸ステークス(GⅢ)」として実施いたします。



写真:UPI/アフロ

矢作芳人調教師のコメント

本当に馬に感謝しています。昨年の3着からはここを勝つためにやってきたと言っても過言ではありません。今日の馬の調子はパーフェクトでした。瑠星(坂井瑠星騎手)に出した指示は馬を信じて乗ってこいと、それだけです。仕掛けがちょっと早いんじゃないかと思いましたが、瑠星の方が馬を信じていたということだと思います。勝つために来たのですが、(1着になり)何か想像できなかったし、何も言葉はなかったです。多くの馬主様だけではなく、多くのファンの皆様も矢作厩舎を支えていただき応援していただいていますので、これからもその期待に応えるように頑張ります。(ファンの皆様へ)やりましたよ。ついに取りました。嬉しいです。本当に皆様の応援のおかげです。ありがとうございました。



写真:スポーツ報知/アフロ

2025年11月1日(土曜) デルマー競馬場(アメリカ)

ブリーダーズカップクラシック (G1) 2,000米(ダート・左)

着順	馬名(生産国)	騎手名	調教師名(調教国)	タイム/着差	人気
1	フォーエバーヤング(JPN)	坂井 瑠星	矢作 芳人(JPN)	2:00.19	①
2	シエラレオーネ(USA)	F. プラ	C.ブラウン(USA)	1/2	②
3	フィアースネス(USA)	J.ヴェラスケス	T.ブレッチャー(USA)	1	③

※着差は先着馬からの着差を表しております。人気はJRAでの発売のもの。

YouTube JRA公式チャンネルでは2025年ブリーダーズカップクラシックのレース動画等がご覧になれます。



写真:AP/アフロ

坂井瑠星騎手のコメント

世界一になれたこと、本当に嬉しく思います。ここまで、最高の状態に持ってきてくれたチームの皆さん、師匠の矢作先生、藤田オーナーはじめ、関わってくれた全ての方のおかげでこういう結果を出すことができたと思います。状態も100点満点で非常に良かったですし、とにかく自信を持って乗りました。朝早い時間でしたが、たくさん応援していただきありがとうございました。フォーエバーヤングが世界一になりましたけど、まだ勝てないレースもありますし、これからも出るレースは全部勝てるように、この馬に相応しいジョッキーになれるように僕自身も頑張っていきたいです。今後とも応援よろしくお願いします。



写真:AP/アフロ

フォーエバーヤングが、 ダート競馬の世界最高峰に到達

文・合田直弘

2歳時を3戦3勝で駆け抜けたフォーエバーヤングは3歳春、サウジアラビア、UAE、アメリカという3か国のダービーに出走する大航海を敢行。ケンタッキーダービーで勝ち馬からハナ差+ハナ差の3着に入り、世代屈指のダートホースとして世界に認知されることになった。

日本で生まれ日本で育った競走馬が、世界の檜舞台で活躍できるようになったのは90年代終盤からで、この頃ターゲットとなったのは、諸外国における芝のメジャーレースだった。日本ダービー、ジャパンカップなど、日本国内で最高峰に位置付けられてきたのは芝のレースで、そこで選抜されたエリートたちは、当然のごとく芝の頂点を目指した。だが、芝における世界最高峰とされるフランスの凱旋門賞に、日本調教馬の手はまだ届いていない。

一方、ダートにおける世界最高峰に位置付けられているのが、アメリカのブリーダーズカップクラシックである。1996年、ここに初めて挑んだ日本調教馬タイキブリザードは、勝ち馬から26馬身以上遅れた13着に大敗した(この年はカナダで開催)。29年前、世界の頂は遥か彼方にあった。

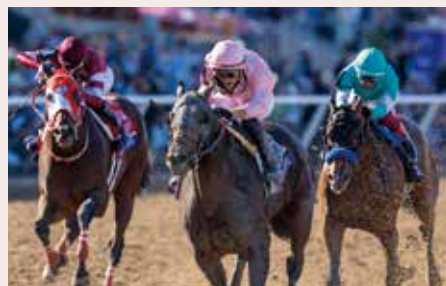
だが、そこからの日本調教馬の進化は驚異的だった。2023年にはデルマントガケが2着に、24年にはフォーエバ

ーヤング自身が3着に健闘。そして25年、総賞金2000万米ドル(約30億8000万円)という世界最高賞金競走のG1サウジカップを春に制したフォーエバーヤングは、ここに再挑戦。前年の覇者シエラレオーネに半馬身差をつけて完勝した。日本調教馬は、芝の最高峰よりも先に、ダート競馬の世界最高峰に到達したのだ。同馬を管理する矢作調教師は、その勝利を「サッカーの日本代表が、ワールドカップを制したようなもの」と表現した。ブリーダーズカップクラシックの価値を、これほどの確に表した言葉は、他にあるまい。



写真:スポーツ報知/アフロ

2025年優勝馬フォーエバーヤング



2024年3着フォーエバーヤング(左)



写真:AP/アフロ

2023年2着デルマントガケ(左)

ブリーダーズカップクラシック JRA所属馬の成績

年	馬名	性齢	騎手	調教師	着順	優勝馬(2着馬)
2025年	フォーエバーヤング	牡4歳	坂井 瑠星	矢作 芳人	1着	(シエラレオーネ)
	フォーエバーヤング	牡3歳	坂井 瑠星	矢作 芳人	3着	
2024年	ウシュバテソーロ	牡7歳	川田 将雅	高木 登	10着	シエラレオーネ
	デルマントガケ	牡4歳	C.ルメール	音無 秀孝	13着	
2023年	デルマントガケ	牡3歳	C.ルメール	音無 秀孝	2着	ホホワイトアバリオ
	ウシュバテソーロ	牡6歳	川田 将雅	高木 登	5着	
2010年	エスポワールシチー	牡5歳	佐藤 哲三	安達 昭夫	10着	ブレイム
2008年	カジノドライヴ	牡3歳	V.エスピノーザ	藤沢 和雄	12着	レイヴンズパス
2004年	パーソナルラッシュ	牡3歳	L.デットーリ	山内 研二	6着	ゴーストザッパー
1997年	タイキブリザード	牡6歳	岡部 幸雄	藤沢 和雄	6着	スキップアウェイ
1996年	タイキブリザード	牡5歳	岡部 幸雄	藤沢 和雄	13着	アルファベットスूप

2025年ブリーダーズカップクラシック優勝 2025 Breeders' Cup Classic Winner Forever Young

フォーエバーヤング

2021年2月24日生 牡 鹿毛

父:リアルスティール

母:フォエヴァーダーリング(母の父:Congrats)

通算成績13戦10勝(うち海外7戦4勝)

主な勝ち鞍

2025年 ブリーダーズカップクラシック(G1)、
サウジカップ(G1)

2024年 東京大賞典(G1)、
ジャパンダートクラシック(JpnI)

2023年 全日本2歳優駿(JpnI)

※2026年1月23日現在

生産:安平・ノーザンファーム

馬主:藤田晋氏

調教師:矢作芳人(栗東)

フォーエバーヤング
Forever Young

